

いきいき男女共同参画

女と男が奏でる素敵なハーモニー

今年度の県フェスティバルは東御市を会場に開催されました。その際の吉武輝子さん(評論家・作家)の講演会の内容を掲載します。

人生80年時代となった。個として生きる年数が40年以上ある。義母は9人の男子を産み当時の「産めよ増やせ」の国の政策に感じながらも生きてきた。実父は役割人間の典型で企業戦士だった。名刺の肩書きで定年を迎えた時、盆暮れの付け届けや年賀状も減って「自分はちっぽけだ」と非力の自分を知り、55歳8ヶ月で自らこの世を去った。



△講演する吉武輝子さん

娘は看護婦になり自立したある日、母親の私の事を「輝子さん」と呼んだ。お互い個として生きる覚悟をした。私は全国の選挙にも出たが私達の世代は参政権を得た喜びは忘れない。ある日娘が電話で「私、師長になったの」という。どこかの市長になったと思つたが違った。「看護婦」から「看護師」と呼び名が変わり、職場は男女共同参画社会になっているんだと感じた。

私は当時プロデューサーとして働いて、産後復帰したら、上司が「あなたが仕事で子どもを一人にするのは、男として忍びない」と言われ泣く泣く退職した。夫はチーフ助監督として広がるように生きられる。社会がつくるジェンダーに

よつて夫婦も引き裂かれていく。2人でいても孤独感があり、日本は若さと美しさで勝負する社会。年をきた女性が褒める文化的歴史はないが、皆褒められたい。何でも遅くない。63歳で俳句を習い、69歳で歌手デビュー、73歳でハンドベル奏者となった。「の」の字(だれそれの母・妻)が消え丸裸の人生が始まる。どうしたら能力を見つけれらるか?人のおだてに乗つてみる事だ。人生は色々な立場を失いながら生きていく。最後は自分の足で立って生きる存在でないといけない。豊かに生きること。友を大切にしたい。肩をいからして生きる人と人間として痩せていく。肩の力を抜き、かわいらしく生きる。生活者としての自立が大切。次の世代がつぶされることのないように、我々は先輩として真剣に考える必要がある。

ど聞くことができました。*この時期にちよūdよい料理を教えていただき、早速お祭りに作つてみたい。*「おこわ」3品はそれぞれの味でよかったです。*豆腐作りは楽しくて、家で作つて家族に食べさせたい。*料理をする上での知恵やマナーを教えていただきよかったです。そば打ちをやつて、何気なく食べているおそばも、どんな言われがあるか、そして様々な技術や工夫がされているのかを知ることができ、よい経験ができました。その土地で採れるものを食べるのが体によいとされます。地元で採れる郷土料理を作つてみました。*信州いいやま食の風土記(農産漁村文化協会・定価1600円)は市内の書店で販売されています。

未来通信

旬の食材の郷土料理講座

地域に伝わる料理を学ぶ講座を開催しました。「笹ずし」や「いもなます」など飯山の風土や気候から生まれたこの地域ならではの特色ある伝統料理があります。生活の変化と共に作られなくなり、忘れられていくものもあります。郷土の味を次の世代に伝えたいと発刊された「食の風土記」をテキストに、編集委員の方々に講師を迎え、6回の講座を行いました。月1回の講座では、その時期に採れる旬の食材を使い、行事の料理や季節感のある料理を学ぶことができました。



7月はこねつけ・よしなの油炒め・田植煮物
8月はえご・やたら・丸なすのおやき
9月は笹ずし・いもなます
10月はおこわ・紫米のおこわ・五目おこわ、ごぼろの太煮・きんぴら
11月はとうふ・おから・さといもの煮ころがし
12月ははやそば・きのこ汁・手打ちそばでした。参加者の声
*なつかしい郷土料理を楽しく食べました。*いろいろな皮の「おやき」で、食べ比べができてよかったです。昔の話や言い伝えな

健康の上で大切なことは、「食」「水」「運動」です。食と言う字は「人に良い」と書きまます。その土地で取れたもの、その時期の環境に合ったものを食べるのが体に良いといわれます。水はいい水を飲みましょう。運動で大切なのは呼吸です。力を入れると体が硬くなりそれが痛みを引き起こします。呼吸で大切なのは息を吐くことです。長く息を吐くことで横隔膜が動き、内臓のマッサージをすることになり、内臓が丈夫になります。そして体が温まり循環がよくなります。

くらしのセミナー④ 手の温もりで健康管理

太極整体道指導整体師の小林先生を講師に開催しました。健康の上で大切なことは、「食」「水」「運動」です。食と言う字は「人に良い」と書きまます。その土地で取れたもの、その時期の環境に合ったものを食べるのが体に良いといわれます。水はいい水を飲みましょう。運動で大切なのは呼吸です。力を入れると体が硬くなりそれが痛みを引き起こします。呼吸で大切なのは息を吐くことです。長く息を吐くことで横隔膜が動き、内臓のマッサージをすることになり、内臓が丈夫になります。そして体が温まり循環がよくなります。

講師のお話を聞いてから、肩こりや膝痛に効果のあるツボを教えていただき2人1組で実習をしました。手のひらには遠赤外線があり手のひらを当てることで痛みを柔らかなる効果があります。息を吐くことでさらに遠赤外線が大きくなり効果が生まれるとのことでした。



*輝いている人!



飯山警察署生活安全・刑事課に勤務されている刑事の倉澤祐子さん。市民の生活安全を守るお仕事をしています。警察官になって2年後の平成12年に能力や適正を認められ、まだまだ女性が少ない刑事になり平成16年から飯山署に配属されました。

許認可事務や相談業務で青少年・DV・ストーカー等の対応と、オレオレ詐欺等の防犯の講話に地域や学校に出向きます。男女共同参画についてどう思われますか?という問いに、「差別は良くないが、体力的なこともあるので区別というか、配慮があっても良いと思う。男だからとか、女だからというのでなく、互いによく補い合いながらやっていくのが良い。能力があるのに機会が与えられないという女性も多いのでは」と話されました。刑事といっても事件を追うという事はないそうですが、生涯、ライフステージの変化があつても働き続けたいとの事。週1回、夜の当直も男性と同じくあり、長期の休暇はなかなか難しく、休日は福寿町の官舎で、料理を楽しむ読書をするという素敵な刑事さんです。

力づけ女性の声もとどけよう(あいとびあ男女共同参画カルタより)

人権政策課男女共同参画係
電話:0269-62-3111
FAX:0269-62-5990
(内線371)

E-mail:
jinken@city.iiyama.nagano.jp

いいやま女性センター未来
飯山市大字飯山1431
電話・FAX:0269-62-0543

E-mail:
center-mirai@city.iiyama.nagano.jp